



ライフサイクルを通じた金融リテラシーの 促進

インドネシア 金融庁 (IFSA)
金融教育・消費者保護担当コミッショナー
クスマントウティ・ステイオノ

Japan, 8 April 2014

1

インドネシアの資本市場

2

国家政策の策定

3

ライフサイクルを通じた金融リテラシー



若者



勤労者



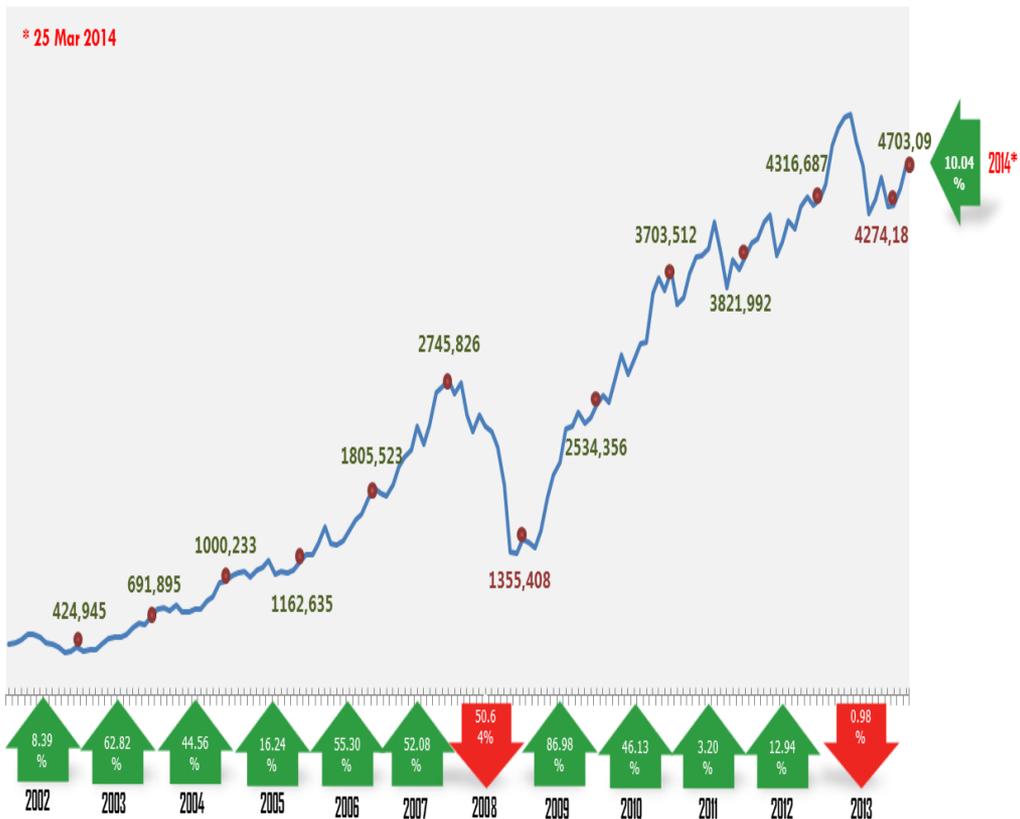
年金受給者



女性

ジャカルタ総合インデックス (JCI)

～2014年3月25日現在



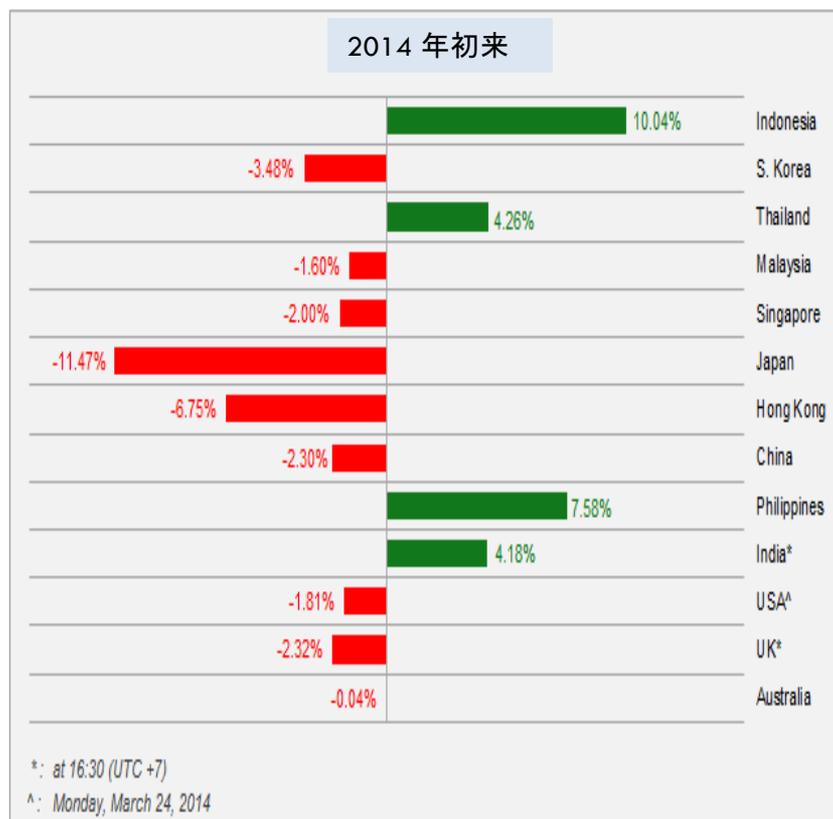
時価総額 (10億 USドル)

～2014年3月25日現在



各地域の指標との比較

2014年3月25日現在



対GDP比

2013年

指標	2012	2013
GDP	824,2	908,4
市場の時価総額	412,7	421,9
社債・ABS	18,9	22,1
政府債	82,0	99,5
資本市場時価総額の対GDP比(%)	62,3%	59,8%
株式市場時価総額の対GDP比(%)	50,1%	46,4%
社債の対GDP比(%)	2,3%	2,4%
政府債の対GDP比(%)	10,0%	11,0%

* 1 USD = 10,000ルピア

10億USD

IFSAの戦略

資本市場発展への焦点



資本市場の深化



法的強制力の向上



市場インフラの改善

第28条

2011年 法律No. 21

インドネシア金融庁は一般市民に対し、金融サービス業、金融サービス、金融商品の特征について教育し、情報を提供する権限を付与された

インドネシア金融庁 規制No. 1/2013

2013年7月26日

金融機関は、コミュニティーのフィナンシャル・リテラシーを向上させるため教育を行わなければならない。そのプログラムは毎年用意され、金融庁に報告されなければならない。

フィナンシャル・リテラシーに関する国家戦略

2013年11月19日、大統領により着手



金融当局、金融機関、
その他のステークホルダーの
ためのガイドライン

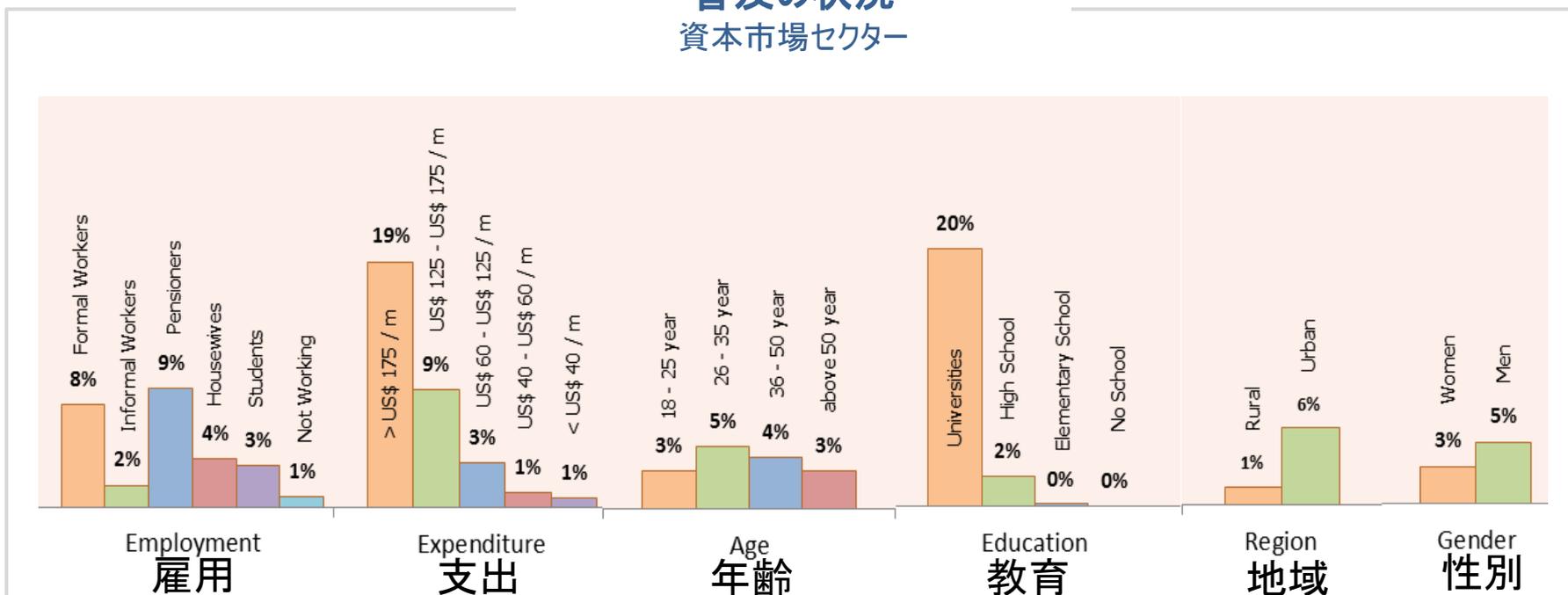
フィナンシャル・リテラシー基礎調査 2013

資本市場  **4%**
 **0.1%**

 知識がある
レベル

 知識を利用できる
レベル

普及の状況 資本市場セクター



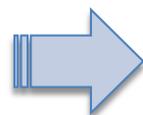
金融知識が豊富な社会の実現と、金融商品の利用増加による コミュニティの福祉の向上を支援

ビジョン

原則

ターゲット

柱



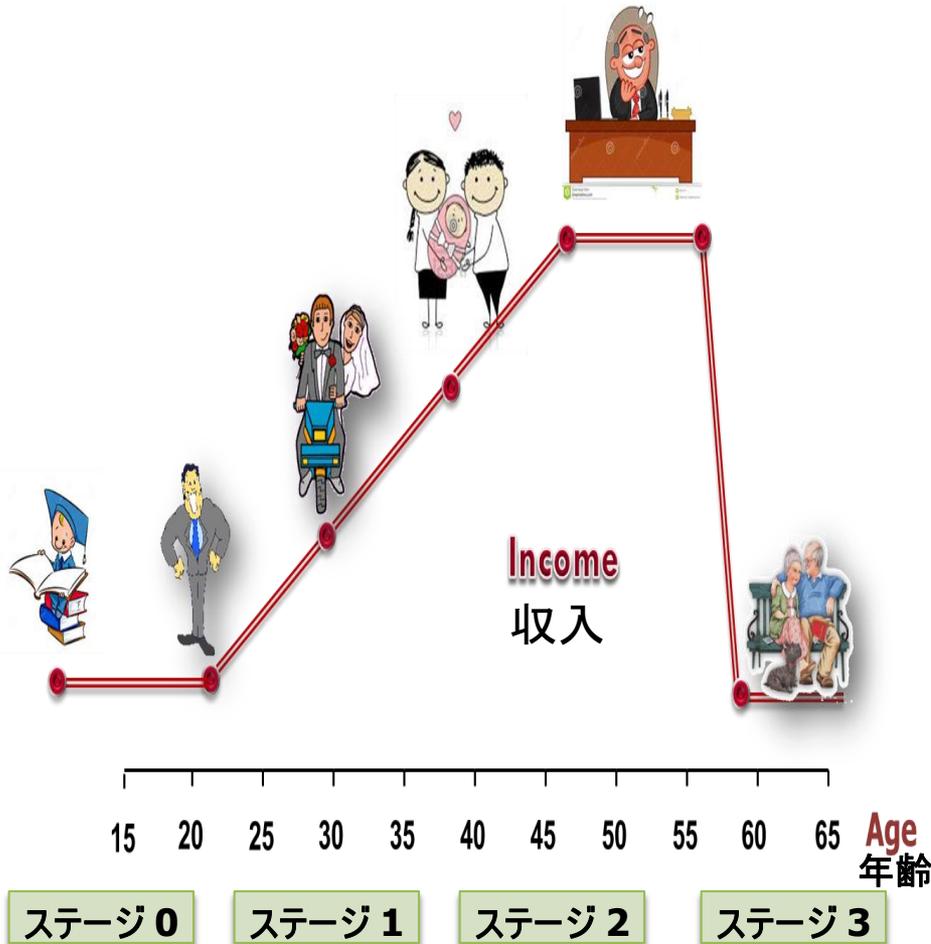
金融知識が
豊富な社会

- 専門家
- 労働者(被用者)
- 中小企業
- 主婦
- 学生
- 年金生活者



ステークホルダーとの
協働

ライフサイクル・プログラム



金融教育は、幼少期に始まり高齢者になるまで続く、生涯にわたるプロセス。

金融教育プログラムは、下記に対応する内容を提供する必要:

- ▶ 参加者のニーズ
- ▶ 参加者の特徴

金融教育プログラムは、収入、年齢、教育、その他の特性が異なる参加者のために、内容をクリエイティブに伝える方法を生み出すべき。

若者

勤労者

年金受給者

女性

ステージ 0: 財産に関する基本的な知識

内容

金融教育は基礎的な知識の構築と、若いうちから大人になるまで貯蓄習慣を奨励することに着目すべき。

伝達手段

- 学校での教育 (カリキュラム)
- 教育者への教育 (教員)
- ミニ・バンク (金融機関)
- ゲーム

フィナンシャル・リテラシーは、
個人に不可欠な生活のスキルとして認
識されるようになった。

学校が果たす役割は
最重要である

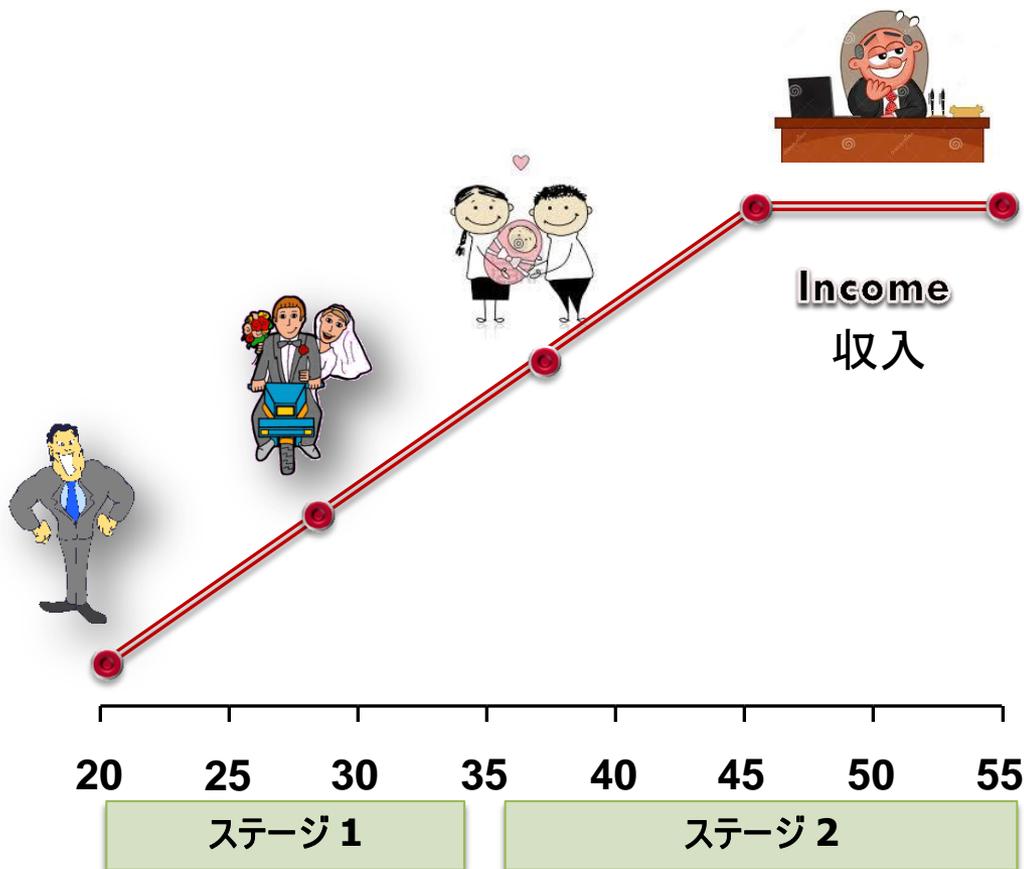
ライフサイクルを通じたフィナンシャル・リテラシー

若者

勤労者

年金受給者

女性



ステージ 1: 基本的な財産の保全

▶ 20 歳代

▶ 30 歳代

ステージ 2: 財産の形成

▶ 40 歳 ~ 50 歳代

若者

勤労者

年金受給者

女性

ステージ 3: 財産の分配

- 金融教育には遅すぎるかも
- (金融)消費者保護が重要に

5 原則



55 60 65

ステージ 3

フィナンシャル・リテラシー基礎調査2013 - 年金基金

7%
2%

知識がある
レベル

知識を利用
できるレベル



定年後に向けた貯蓄について、
個人が積極的な役割を果た
すことが重要

若者

勤労者

年金受給者

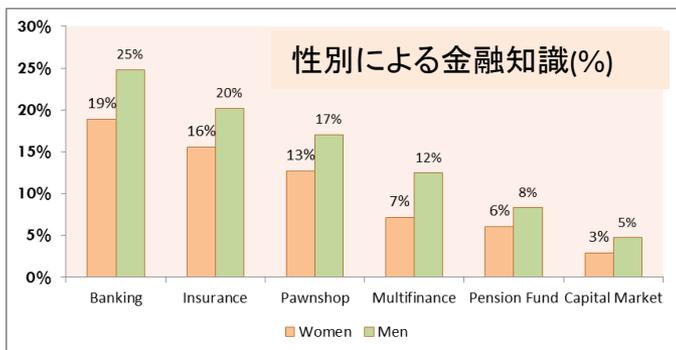
女性

女性も男性も金融知識を持つべきである。
女性にとって必要性はより高い。なぜなら:

- 家計資産の管理で主要な役割
- 金融に関する習慣を子供に伝達する主要な役割
- 低い所得と労働参加率
- 長い平均余命
- 低いレベルのフィナンシャル・リテラシーと金融への関与

内容：

- フィナンシャル・プランニング
- 定年後への計画
- 起業家精神
- 過重な債務の防止
- 金融商品



- 銀行セクターでは、男性の25%に対して女性ではわずかに19%しか十分な金融知識をもっていない。
- 6セクターの全てで、女性は男性と比較して知識が普及していない。

ライフサイクルを通じたフィナンシャル・リテラシー

金融教育プログラムは、対象となる参加者の教育水準の違いに応じ、内容をクリエイティブに伝える方法を生み出すべき。

伝達手段

都市在住者

- 教育用ウェブサイト
- ソーシャルメディア
- 講義



地方在住者

- フィナンシャル・リテラシー・カー
- アウトリーチ・プログラム
- 広告: テレビ、ラジオ、新聞

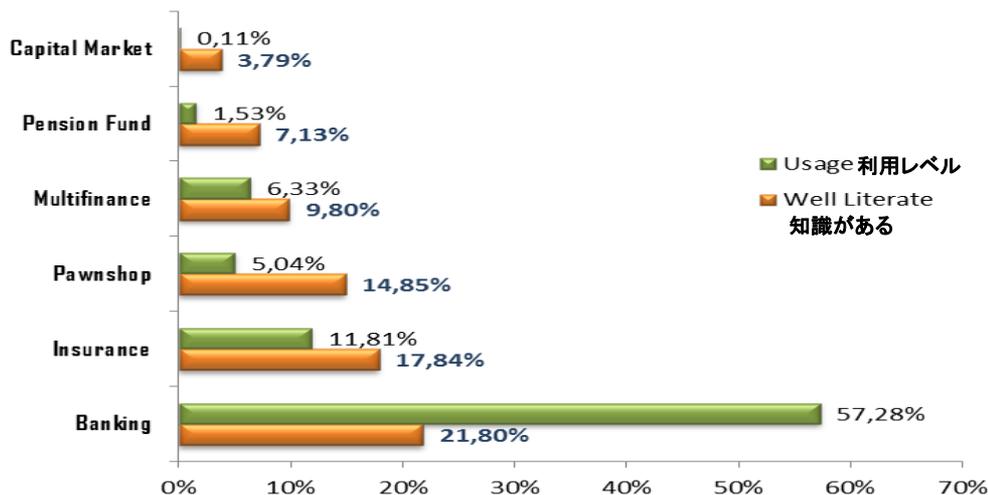


金融顧客への対応

顧客が情報を提供・受領し、苦情を申し立てられるシステム



フィナンシャル・リテラシー基礎調査 2013



2013年に実施されたフィナンシャル・リテラシー調査は、過去最大規模であった

- 20 地域 (アチエからジャヤプラまで)
- 8.000名の回答者

3 年毎に実施

評価
プログラム

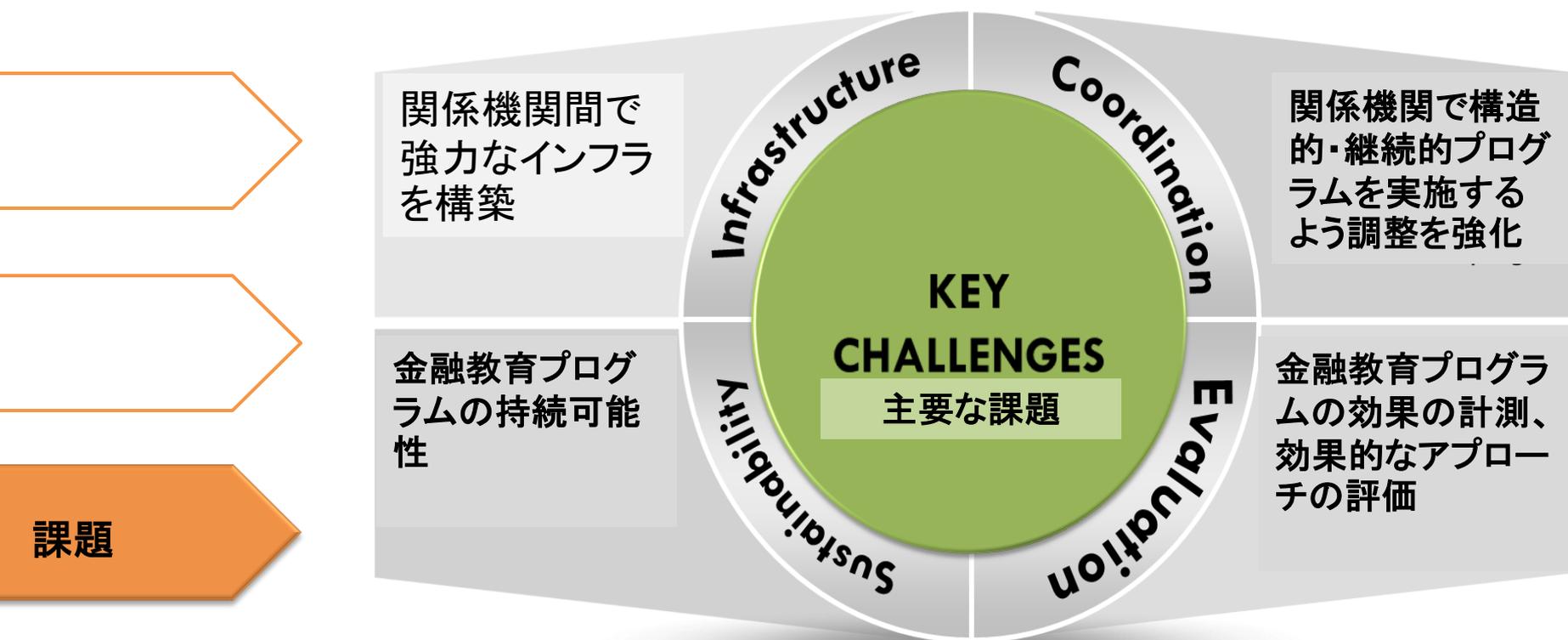
アウトリーチ・プログラム

全てのプログラム

アンケート

全ての教育プログラム

ライフサイクルを通じたフィナンシャル・リテラシー



THANK YOU

Mrs. Kusumaningtuti S. Soetiono
Member of Board Commissioners
in Financial Education and Consumer Protection, IFSA

Telp : +62-21 2981-7002
Fax : +62-21 350 1886
Mobile : +62-811-922-942
Email : kusumaningtuti.soetiono@ojk.go.id